

# 「地域と共にある学校づくり」

## 地域教育力推進モデル校としての取組

|                    |                    |                |
|--------------------|--------------------|----------------|
| <b>大和高田市立浮孔小学校</b> |                    | <b>H24. 4～</b> |
| 児童数 386名           | 学級数 17学級（特別支援学級4含） |                |

本校では、職員の代表6名と管理職で組織した地域コミュニティ推進委員会を設置し、それをもとに「うきあなネットワーク」（学校コミュニティ協議会）を位置づけた。「うきあなネットワーク」は、17名の委員で構成し、そこで議論された内容を具体的な活動で実現する組織として、3つの「コミュニティ」をおいた。今年度は、6つのボランティア活動組織で取組を進めた。

### うきあなネットワーク（17名）

地域代表（3名：総代会会長・婦人会会長・民生児童委員協議会代表）学識経験者（1名）  
 保護者代表（2名：PTA会長・PTAOB） 幼稚園園長 中学校校長 小学校教員代表（6名）  
 小学校長 小学校教頭 市教委代表（1名）

## 1 取組の経過と内容

| 月 日       | 協議会等の開催   | 議 題  |
|-----------|---|--|
| 5月        | PTA役員会で説明、校区婦人会への説明と依頼<br>※地域教育力推進モデル校について説明と協力依頼 |  |
| 5月15日(火)  | 第1回婦人会長と学校・PTA代表打合わせ会                             | ・運動会に地域色を出す工夫について<br>・実施に向けての方法と今後の予定  |
| 5月22日(火)  | 第2回婦人会長と学校・PTA代表打合わせ会                             | ・運動会での実施に向けた打ち合わせ<br>・「おかげおどり」の練習（交流）  |
| 5月30日(水)  | 第3回婦人会・学校・PTA代表打合わせ会                              | ・運動会での実施に向けた打ち合わせ<br>・「おかげおどり」の練習（交流）  |
| 6月        | 学校評議員会、校区健康づくり推進協議会で説明<br>※地域教育力推進モデル校について説明と協力依頼 |  |
| 7月11日(水)  | PTA役員学習会  | ・講演「地域教育力向上について」<br>－学校をベースとした地域コミュニティの再構成－                                      |
| 7月18日(火)  | 第1回「うきあなネットワーク」開催                                 | ・「うきあなネットワーク」の取組と活動について<br>・子どもたちに必要なことと地域教育力について                                |
| 8月21日(火)  | 職員研修「地域教育力」                                       | ・地域教育力向上にむけた学校と地域のあり方について<br>“講演と熟議”   |
| 8月29日(水)  | 地区懇談会   | ・子どもへの関わり方と地域で子どもを育てるために必要なことを考える  |
| 10月9日(火)  | 第1回地域コミュニティ推進委員会                                  | ・「地域と共にある学校づくり」に向けた取組について<br>・第2回うきあなネットワークに向けて                                  |
| 11月6日(火)  | 第2回「うきあなネットワーク」開催                                 | ・活動内容についての“熟議”<br>(読み聞かせ、通学合宿、ハートフルパトロール、昔遊び伝承、あいさつ運動、花いっぱい運動)<br>・部会別の活動内容の“熟議” |
| 11月22日(木) | ふれあいコミュニティ部会                                      | ・全校お楽しみ会での活動について<br>・昔遊びをどう広めていくか。   |
| 12月5日(水)  | 安全コミュニティ部会  | ・小学校と中学校の連携した取組「ハートフルパトロール」と「あいさつ運動」について   |
| 12月11日(火) | PTAコミュニティ部会                                       | ・「うきあなネットワーク」の活動報告とPTAコミュニティ部の活動について   |
| 1月22日(火)  | 読み聞かせボランティア打合わせ会                                  | ・朝の読み聞かせボランティアの活動計画  |

2 コミュニティ組織図と概要 (●:実施済(中) ○:実施予定)

**安全コミュニティ**

子どもたちの安全確保と規範意識の醸成に関わる企画・立案を行う活動組織

- ハートフルパトロール (ハートフルボックスの設置)
- あいさつ運動 (“あいさつおさんぽたい” バッジの活用)
- 地域と合同防災訓練 (予定)

**ふれあいコミュニティ**

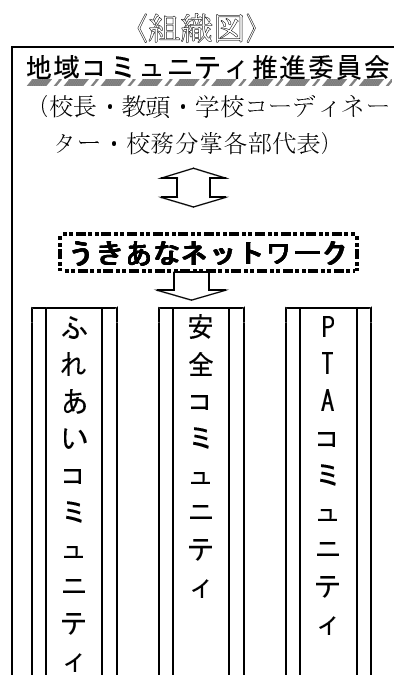
地域の人と関わりを深めながら、子どもたちの心を育てる教育活動の充実に向けて支援する組織

- 地域色を取り入れた運動会 (“おかげおどり” の実施)
- 昔遊びを伝えよう (全校お楽しみ会での昔遊びコーナー設置)
- 読み聞かせ活動 (朝の読書タイム)

**PTA コミュニティ**

既存のPTA組織を中心に、学校での教育活動とはひと味違った体験活動を提供する組織

- ハートフルボックスへの対応 (なら通学合宿) など



3 活動の具体例

(1) **地域色をいかした運動会** (全校児童対象)



「ふれあいコミュニティ」に所属し、メンバーは、校区婦人会の有志がPTA 保体部とともに活動した。大和高田市でも積極的に広められている「おかげおどり」を運動会の種目に取り入れ、より多くの地域の人に一緒に踊りを楽しんでもらえるよう企画した。

(2) **あいさつ おさんぽたい** (保護者、近所の人、中学生の保護者等対象)

「安全コミュニティ」にある組織で、PTA役員が中心である。しかし、中学校長が入っていることにより、小・中学校が連携し保護者を巻き込んで取組を進めていけるというメリットがでてきた。



(3) **昔の遊びを伝えよう** (全校児童対象)

これまでも支援ボランティアの協力を得て、1年生や3年生の子どもたちが体験しているが、今回の取組はうきあなネットワークでの意見と教職員の意見が一致し、学校行事の中で無理がないように実施内容を企画・立案して取り組んだ。



4 まとめと今後の課題

学校行事や各学年の年間計画に沿って保護者や地域人材を活用してきたが、PTA役員を組織に組み込んだことで、各取組にPTAの協力が得られやすくなった。また、学校組織に位置づけたことで、教職員の「やってもらう」発想から「自らが関わる」発想への転換が図られてきた。

この仕組みを通して、地域の方の子どもたちへの思いや願いを共に話し合うことができ、教職員とのコミュニケーションがとれるようになった。そして、何よりも子どもたちが地域の方と親しくなる機会が増えた。また、子どもや学校の教育活動をこれまで以上に知ってもらえることになり、子どもたちに必要なことは何かを考えてもらえる機会になった。よりよい教育活動を目指した「地域と共にある学校づくり」への取組につながってきたと考える。

教職員に取組内容を浸透させることは、時間的に無理があった。また、従来の校務分掌以外の仕事内容が出てきたため、教職員の仕事の負担を考えるとまだまだ考えるべきところがあるように思う。しかし、学校に教育活動のすべてを依存するのではなく、本校に関わる地域住民や保護者それぞれに果たすべき役割があることに共通の認識を持つことができたことは、この取組における協働する仕組みづくりの必要性和目標 (子ども像) の共有において大きな成果ではないかと考える。